「業務委託校モデル実施校」以外の大阪府立の高等学校並びに支援学校については、１６年度も府教委が責任を持って技能員（校務員）を配置するなど、勤務労働条件を低下させないよう具体的な方策を取ることに関する項目

　本府の厳しい財政状況のもと、大阪府行財政計画（案）に基づき、校務員につきましては、退職あとを補充せず、その業務のアウトソーシングを行うこととしている。

　また、公務員がゼロとなる学校については、学校環境整備業務委託をモデル校として実施しているところ。

　そのような状況の中、平成２８年度当初、人員異動・配置を行う中で、結果的に校務員の配置ができない学校が９校となる見込みになった。

　この９校については、２８年度は外部委託という形となりますが、学校の事情等を十分に聴きながら進めていく。

技能員（校務員）の職務についての組合との協議なく、一方的に「民間委託」することは行わないことに関する項目

今回の結果は、人事異動・配置によるやむを得ない状況によるものであり、外部委託については、学校や皆さまの意見も聞きながら進めていく。

「業務委託校モデル実施校」を含め、民間に業務委託を行う学校については、業務の連絡・調整などで学校に負担を生じさせないための措置を行うこと及び事務職員の業務負担にも留意して措置することに関する項目

柏原東高校、桜塚高校、茨木支援学校の３校をモデル校として実施している「学校環境整備業務委託」をはじめ、外部委託を実施する学校については、学校や皆さまの意見も聞きながら、学校の状況の的確な把握に努め、学校運営に支障が生じることのないよう努めていく。

技能員（校務員）の職のあり方を含め、技能員（校務員）の勤務労働条件について高教組と今後も引き続き協議することに関する項目

　技能員（校務員）の職のあり方を含め、技能員（校務員）の勤務労働条件については、引き続き皆さまのご意見を聞きながら進めていく。